

伝心伝承

当コーナーでは会長、県会長経験者の方々に「中央海」という大海原での羅針盤たる助言・苦言をいただきます。6回目は第23期県会長秋田導秀OBです。



一何を期待されて中央会へ入られましたか？

(帰郷するまで東京で勤務していたもので、)入会までは東京・海外しかイメージがなく、地方の経済界が全く分からない。もちろん、上の世代で名を残している人はチラホラとわかるけれども、今を動かす、これから動かそうとする企業人はわからなかったから、そういう人たちとの繋がりを期待して入会しました。

一入会してよかったことはなんですか？

会社の従業員には相談することができない企業トップが抱える悩み等を共有でき、そのことを一緒に考えることで励みになり、勉強になりました。また、中央会を通じ、その他の経済団体(青経連)と付き合いができたことです。今だに中央会との付き合いも続いているし。

一中央会と仕事との両立についてお聞かせください

両立せんわけはないでしょう。出席率の悪いやつはつまらない。入会1年目は駆り出される機会も多いが、それからは月たった2回のこと。それが仕事に影響するとはおもえない。やり繰りできないわけではない。活動の重要さは委員長が一番わかるとおもうので、機会があればみんなに経験させてみると一皮剥けるとおもいますよ。

一現役会員へのメッセージをお願いします

まず、「会員相互の友愛」。決して親分子分の会ではないので、一緒に勉強して、一緒に遊べば良いとおもいます。合理的に考える必要はないのではないのでしょうか？染まってみればいいんじゃない。あと、「会員の使命」。今は本当に厳しい時代だから仕事にも役に立つような会を会長・副会長には創ってってもらいたい。最後に「戦う精神」。辛いのは負けることではなく、戦えないことだとおもうので。今の地方の現状は、トライして負けるのではなく、商売のステージに乗ることもできていないので。ただし、戦うにはどうしたらいいのかを真剣に考えていくことも大切でしょうね。

(広報：小川昌史)

言わしてごしない 真の六

先日、ある住宅街で若い母親がベビーカーに子供をのせ、片手にケイタイを持ちながら歩いている姿を目にした。母親はメールのやりとりをしながら歩いているようで、ケイタイ画面を見ながら一生懸命指を動かしていた。その姿をみて自身の子供の頃と照らし合わせてみた。時代の流れとはいえ、ひと昔まえまでは子供は母親の背中に負われていたとおもう。そして、子供をあやすのは母親の声や子守歌であって「着メロ」ではなかったような気がする。昔のよかった習慣・風習までがケイタイの影に隠れてしまっている。

今の子供は生まれたその日から、幸か不幸かケイタイとの生活が待っている。そのケイタイを巻き込んだ犯罪なども、最近報道などで耳にすることが多くなってきているが、便利な道具だけにマナーや常識など自身も見直したいとおもう。

(国際交流：大田修一)

新社屋落成

武海 章会員(総務)
所属企業:有限会社みつば工芸
住所:〒683-0064 米子市道笑町2-210
電話:0859-33-6621(代)
FAX:0859-33-6720(旧番号から変更)
12月8日(月)に営業を開始されました。ますますの御発展をお祈りします。

御成婚

桑本功一会員(情報メディア)11月24日(月)ホテルサンルート米子にて、おめでとうございました。永らくお幸せに!

1月例会案内

とき:平成16年1月15日(木) 18時30分~
ところ:米子コンベンションセンター
講師:国際協力銀行企業金融部
中堅・中小企業支援室参事役 辻井 渉(つじい・わたる)氏
演題:東南アジアにおける日本企業のビジネス環境

1月役員会報告

1月定例役員会が平成16年1月5日(月)、米子食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
(1) 1月例会、2月例会開催の件
(2) トライアスロンボランティアの件
(3) 30周年記念事業の件
(4) その他
※なお、詳細については委員長までご参照ください。

地域のオピニオンリーダーたち!

~角盤町通りの違法駐車取締りのお願い~

鳥取県警本部長様

突然のメールで失礼いたします。去る9月25日、鳥取県議会を傍聴いたしました。湯原県議の代表質問に対し、「街頭犯罪の抑止に努め、県民の期待に応える」という本部長の答弁が非常に印象的でした。そこで是非ともお願いしたいのですが、米子市の繁華街、角盤町通りの違法駐車が見るに耐えられません。特に週末は、歩行者が通りの中央を歩かざるを得ない状況です。

私は4年半前に東京から米子に戻って参りましたが、米子警察が飲酒の取り締まりをしている姿はよく見かけますが、レッカー移動を含む違法駐車を取り締まりは見たことがありません。札幌警察がニューヨーク市警に倣った「ブロークンウインドウ理論」をご承知のとおりですが、違法駐車は検挙が他の犯罪の抑止に繋がるとは、札幌警察の実績が証明済みです。

我が国の慢性的な警察官不足は重々承知ですが、是非とも「県民の期待」にお応えいただけますよう、管轄警察署へのご指導をお願い申し上げます。

尼子 健

駐車違反については交通の危険のみならず、火災発生時の消火活動、救助活動等に支障を及ぼすこととなりかねないことから、警察では繁華街を中心とした駐車違反の取り締まりを行っております。

ご指摘の角盤町通り繁華街の駐車違反については、関係業者をはじめ、関係機関・団体に対して駐車対策を講じるよう要請するとともに、繁華街の環境浄化活動の一環として、随時取り締まりを行っているところであります。

今後とも集中かつ継続的な取り締まりを行うよう米子警察署に指導しておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

鳥取県警察本部交通部交通指導課長

吾輩はバイリンガルである?

現在、私は岡山に本店を置く中国銀行の米子支店に勤務している。入行以来ずっと岡山県内での勤務であったが平成13年2月に当地に配属となって今日に至る。米子の生活も早いものでもう3年を迎えようとしている。

昔任当時は隣県ということもあり、「岡山県と何ら変わらないであろう」と高を括っていた。しかし、取引先企業へ訪問した時、出迎えられた社長が「いらっしゃい、ようきてござなつた。」(なに、「ようきてゴマすつた」?)「だんだん。」(今日は雪が降つたりしますが…。「寒々」?)とにかく訳がわからない。追い討ちをかけるようにその社長はかなり早口だから余計にわからない。「言葉が読み取れない。どーしよう?」とおもいつつ月日は流れていった。

その後、中央会に入会し、鳥取県人の仲間も大勢できた。そのおかげかどうか方言もなんとなく理解できるようになった。されど、私は岡山県人ゆえしゃべるのは岡山弁。先般、ミスをした部下に対し「おま、なにしようだらー!」と自然に出た大声に周辺目が点…。(小)

支所長 主査 合 議 区 々

伝心伝承「自立」-3本の柱- 会の自立・人としての自立・地方の自立

Handsome

発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長:浜田一哉 編集責任者:野嶋 功 印刷所:東京印刷社



新年のご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会
第29期会長 浜田一哉

鳥取県中小企業青年中央会
第29期会長 市位清明

新年明けましておめでとうございます。旧年中は会員の皆様にはたいへんお世話になりました。会長就任以来半期が過ぎ、新たな年を迎えるにあたり、改めて身を引き締め直し、来るべき30周年事業に備えたいとおもいます。

さて、この1年を振り返ってみると、世界においても我が国においても「激動の年」ではなかったでしょうか。特に、対テロリスト戦争においては早期解決を切望する次第であります。

国内に目を向けますと、出口の見えない経済不況に拍車をかけるごとく、国民ひとりひとりに様々な増税策がとられようとしております。次代を担う子供たちに夢を与えることすら難しくなっているような気がしてなりません。

地域に目を向けますと、平成17年の合併特例法の期限を間近に控え、各地で合併論議が交わされましたが、全国的に見ても不調に終わってしまった事例が多かったようにおもいます。地方自治の将来をしっかりと把握することの難しさ、そして各地区の首長のリーダーシップと連携が改めて問われたようにおもいます。

何かと暗い話ばかり目立ちましたが、明るいニュースもありました。メジャーリーグに日本人野手として初めて乗り込んだイチロー選手は今オフ4年契約48億円というビッグマネーを獲得しました。もちろん、彼が特別な存在であるということは言うまでもありませんが、その結果を真似することはできなくとも彼の職業に対する姿勢(=プロ意識)からは大いに学ぶべきものがあるとおもいます。こんな大変な時代だからこそ、しっかりと地に足をつけ、自らの力を蓄え、明確なビジョンのもと夢または目標に向かって精進しなくてはなりません。

我が西部青年中央会は、120ものすばらしい知恵と個性を持ち合わせた個性派集団であると自負しております。努力を重ねるのは無論個々ではありますが、当会の活動が会員の本業を飛躍させる一助となれば無上の喜びであります。皆様の一層の積極的参加と協力をよろしく願います。

あけましておめでとうございます。昨年中はたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

今期は、西部からの県会長選出ということもあり、昨年7月の新年度スタート以来会員の皆様には各種事業に積極的に参加していただきました。7月の県総会に始まり、9月の韓国との経済交流事業、10月の全国大会、そして11月の経営研修会と、その全ての行事が過去に例を見ないほど多数の会員参加をもって執り行われたことは喜ばしい限りです。県の事業は地区の事業と違い、ほとんど全ての事業を「各地区会員の交流」を第一に考えて企画しております。よって、参加しなければ「交流」を実感することは不可能です。反面、参加することによって人付き合いや商売の広がり等のプラス効果が生まれてきます。今年は2月に委員長交流会、5月にはレクリエーションの開催を予定しております。地区の事業と同じく、県の事業にも積極的に参加しましょう。そして、東部・中部の会員の皆さんと積極的に交流しましょう。

さて、今年度県青年中央会は「進化」をテーマに各種事業を進めていることは皆さんご周知のこととおもいます。今や「勝ち負け」の時代は終焉を迎え、これからはまさに生死をかけた企業経営を行わなければ生き残っていけない時代に入っているのではないかとおもいます。時代の変化を敏感に察知し、すばやく行動(方向転換)できる企業、つまり「進化」する企業こそが発展し、生き残ってける時代になってきたのではないのでしょうか。今年30周年を迎える我々青年中央会も、同様の「進化」が必要であると考えます。周年という節目の年を迎え、今一度全会員が会の原点に立ち寄り、過去の歴史を踏まえた上で会の将来について真剣に考え、行動していかなければならないとおもいます。会の発展と存在意義について考え、行動を起こしていく年にしましょう。

忘年例会、大いに盛り上がる！



12月15日(月)、ホテルサンルート米子において忘年例会がおこなわれた。

冒頭、浜田会長より『いよいよ来年度は記念すべき30周年。一致団結して素晴らしい周年事業にしたい。』と挨拶があった。米子の野坂米子市長からは『地域の経済を活性化し、これからの時代を担ってほしい。』との激励の挨拶があった。また、鳥取県団体中央会西部支部長で第8期会長を務められた岡田OBからは『中央会の皆さんとともにこの時代を乗り切りたい。来年こそ不景気は去ると信じている。』との力強い挨拶があった。最後に、OB会会長を務められている第13期会長の中村OBからは『いくら環境が悪くても、心まで沈ませることなく自分自身の心をしっかり持っていれば必ずいい年を迎えられる。我々OBも縁の下の力持ちとして協力していきたい。』とのありがたい挨拶があった。



続いて、商工労働中央会米子支店支店長の寺島様より『30年余りも続く中央会。その皆さんのパワーを結集して西部地区の不景気を吹き飛ばしていただきたい。』との気合いの入った乾杯の音頭で酒席は幕を開けた。

毎年恒例のはずの忘年例会とは言え、旧交を深め合う現役・OB会員の姿がそこそこに見受けられ、テーブルごとに思い出話に花が咲いていた。途中、総務委員会渾身の『30周年記念事業告知フィルム』が映し出され、懐かしい映像に対する嬌声や故人を偲ぶ声が交差し、来年の周年事業へ向けた目に見えない連帯感が醸成された時間となった。

しばしの歓談後、『現役・OB対抗かくし芸大会』のアトラクションが行われた。先陣を切り、山根政治行政委員長による射的の実践が行われた。賑やかだった会場も、矢を射るまでの一連の動作に水を打ったように静まり返り、一瞬の様式美に魅せられていたようである。那須与一よろしくギリギリまで引かれた弓から放たれた矢が見事な射撃と会場は大歓声に包まれた。新入会員によるボイスパーカッション、松田聖子のモノマネが会場を沸かせたあと、満を持して伝説のTSCバンドが登場した。浜田会長発案による『現役会員が楽器を奏で、OBが歌う』という素晴らしい企画は、岩田OBと土井OBの迫力のある歌声を引き出し、和田OB・中村OB・鈴木OB・宇佐見OBの飛び入りを誘った。その際、会場の雰囲気が高潮に達したのは言うまでもなかった。



大トリは、第7期ご卒会の石黒豊OBによる締めめの挨拶。全会員とその所属企業の来年の息災延命を祈念した三本締めで終宴となった。



(広報：岡本重雄)

● 新入会員オリエンテーション ●

『青年中央会は後継者の育成を目的として発足した。』『さまざまな行事に常に問題意識を持ちながら積極的に参加して欲しい。』『中央会に対するおもしろい入れと中央会会員としての誇りを持って欲しい。』『これからの歩みを考え、しっかり勉強し、未来の中央会を支えて欲しい。』『人間対人間の付き合いができる場所なので自分の居場所を見つけて欲しい。』などが今オリエンテーションで印象に残った言葉です。

5月に入会し、お声のかかった行事や活動にただひたすら参加してきました。参加することで、多くの先輩方に名前を覚えていただけたし、かわいがって(???)いただいているし、同期の友人が多くできました。これらは中央会に入会していなければ、個人業の自分には一生無縁だったろうとおもっています。また、OB交流会でのウォーターボーイズや委員会での書記の仕事、一度ではありますが役員会の書記、そしてこの感想文等々、入会してこそその貴重な経験をたくさんさせていただいています。

オリエンテーションの懇親会で、同期の仲間たちは各々質問をしていましたが自分だけではできませんでした。ただがむしゃらに突っ走ってきたために疑問を持つことも考えることにも余裕がなかった点は反省したいとおもっていますが、それに反して、『すごく楽しいし、それでもいいかな?』なんてこともおもったりしています。今は『中央会に早く馴染みたい!ひとつでも多くを消化・吸収したい!』そんな気分です。のんびりした性格ゆえ、長い日で見守って下さい。

最後になりますが、行事・活動に多く参加してきたぶん、OB会員を含む先輩方の中央会に対する想いとか良いところ、また、変えたいところなど、色々教えていただく機会に恵まれ感謝しています。この度のオリエンテーションでの感想も同じです。時間が経っても、自分の居場所を見つけ、中央会という組織に対してお手伝いできることを探し、今以上に頑張っていく予定です。そして、その機会を作って下さっている諸先輩方、同期のみんなにこの場をお借りして感謝の御礼を言いたいとおもいます。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



(総務：牧田継夫)

12月度各委員会報告書

情報メディア委員会 平成15年12月11日(木) 於：幸 出席者/6名

内容/上期反省・下期活動打ち合わせ等
今月は忘年委員会だったが、予想以上に集まりが悪かった。また、場所がわかりにくかったせいもあって開始時間も遅れた。年末の忙しい時期に会長にも2次会まで付き合っていた頂き、半年間の締めくくりとした。

政治行政委員会 平成15年12月8日(月) 於：岩崎館 出席者/14名

内容/1月委員会講師選定ならびに3月担当例会打ち合わせ等
1月委員会の講師への打診は「教育」チームが行い、現在スケジュールの調整中にある。同時に、3月担当例会の講師候補の選定も行い、4候補の名前が挙がった。今後、交渉にあたっていく。
また、今月は忘年会を兼ねた懇親会を開催し、前期の反省や後期への意気込みを各々語り合った。

国際交流委員会 平成15年12月4日(木) 於：海潮園 出席者/12名

内容/1月担当例会打ち合わせ等
研修旅行に不参加だった会員と研修行程のビデオを鑑賞した。タイという国がビジネス・娯楽の両方面においていかに魅力的な場であるかを再認識した。また、担当例会に向けて各作業担当者を決め、タイムテーブルの粗割り等を行った。

経営委員会 平成15年12月4日(木) 於：爸爸厨房 出席者/12名

内容/下期活動打ち合わせ等
11月担当例会の反省を行ったあと、下期活動打ち合わせとして行いたい委員会内容の意見をメンバーから募った。また、今回飛び入りで参加された前田OBから主に新入会員(高橋会員、岩垣会員)に対して、心構えなどに対してご意見をいただいた。その後、忘年委員会へと移行し、担当例会の労をねぎらいあった。

地域ビジョン委員会 平成15年12月11日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/7名

内容/年忘れ大懇親会
伊藤副会長より『残り半期、みんなの力を合わせてこの委員会を盛り上げて欲しい。』との言葉をいただいたあとは盛大に懇親会

になだれ込む。半期の労をそれぞれがねぎらい、今後の委員会活動の活力を注入するかのごとく酒をあおった。

広報委員会 平成15年12月5日(金) 於：大連 出席者/8名

内容/ハンサム1月号編集等
ハンサム1月号編集の他に、下期運営方針についての説明があった。まず、「班編成」については現行の3班制を2班制に変更し、総力戦で下期編集作業にあたる。また、次月には「新規コーナープレゼン」を行い、紙面に変化をもたらす次年度につながるようなコーナー企画案を各委員にプレゼンしてもらおう。最後に、「委員会報告書と30周年記念誌」の編集スケジュールを確認のうえ作業内容を把握した。おまけとして、広報委員会の独断と偏見による「中央会10大ニュース2003」を決定した。かなり偏った個人的な事柄を混ぜつつ2003年の中央会活動を各委員が振り返った。

総務委員会 平成15年12月5日(金) 於：ホテルサンルート米子 出席者/15名

内容/12月忘年例会打ち合わせ
忘年例会について、「新入会員が責任担当につき、会合運営の主体的積極参加と成功に向けてより尽力すること」を往々に各担当割りやタイムスケジュール等を確認した。同時に、30周年啓発イベントの内容を協議した。最終打ち合わせを12月11日(木)にホテルサンルート米子にて行うことになった。
忘年会の代わりとして、忘年例会の反省会を含め1月委員会で新年会をすることとなった。

30周年記念事業委員会 平成15年12月3日(水) 於：サンメディア 出席者/6名

内容/30周年記念事業企画打ち合わせ
1. 周年記念シンボルマーク案について
シンボルマークのデザイン案が公開されたが、比較デザインをもっと出してもらったうえで再選定することとなった。
2. 周年事業タイトルについて
「自律」と決まった。また、サブタイトルについては次回まで持ち越しとなった。
3. 基調講演について
予定講師との交渉が不調に終わりそうで、再度選考することとなった。

平成15年度県経営研修会

11月19日(水)、平成15年度鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が米子ワシントンホテルプラザにて開催された。講師に鳥取県副知事平井伸治氏をお迎えし、「進化」する地方自治～自治体が企業に求めるもの～という演題で基調講演が行われた。

氏はまず、「従来型システムの瓦解」を指摘され、「長いものにはまかれろ、の考えは既に崩壊した。価値観の転換期に立つ今こそ家族の愛情や素晴らしい仲間との良好な関係といった生活満足度を創出・構築していくことがこれからの時代の富である。」と説かれた。

続いて、「自立」については宮本武蔵を例に挙げ、青雲の志の大切さや世の中のことを深く想うことの大切さなど現代の個人・企業が戒めるべき点についていくつか触れられた。また、「進化」については、新しいビジョンを持った人間がこれから生き残ることができるということを強調され、青年経済人のリーダーシップに期待を寄せられた。

最後に、『自分自身の力を信じ、夢をいかに実現させるかにおいて自分を試してください。』という言葉で講演を終了された。

基調講演に続いて、大津直前県会長をコーディネーターに、平井副知事・平野東部直前会長・門脇西部直前会長をパネリストにしたパネルディスカッションが行われた。「企業と自治体の連携」をテーマとした熱い討論は、本業に関する具体的な問題提起も飛び出す白熱した空間を創出した。

その後、来年に控えた当会30周年記念事業の各地区の進捗状況と意気込みを各地区代表者に語っていただき、あらためて「鳥取県はひとつ」という想いを参加者全員で確認した。

(国際交流：野口 学)

